



発行責任者 亀岡市立病院広報委員会

〒621-8585

京都府亀岡市篠町篠野田1-1

TEL 0771-25-7313

FAX 0771-25-7312

<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/>

病院理念

- 急性期医療を中心とした適切かつ良質な医療を提供します。
- 患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づいた患者さま中心の医療を行います。
- 地域医療機関と連携し、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み地域医療の向上に貢献します。
- 公共性と経済性を考慮し、市民の理解と信頼を得られる透明性のある病院運営を行います。

CONTENTS

ごあいさつ	1
認知症看護認定看護師が誕生しました	2・3
亀岡市立病院健康講座 今後の予定についてお知らせ	4
亀岡市立病院健康講座 今年度の活動報告	5
糖尿病教室からのお知らせ	6
地域連携医のご紹介 編集後記	7
外来担当医表	8



『地域包括ケアの考え方と病院運用について』

皆様は「地域包括ケア病床（または病床）」という言葉を知りましたか？平たく言うなら「入院のきっかけになった病気は大方治り退院も可能であるけど、一人暮らしなどの環境が不安でもう少し時間をかけたいと考える患者様が、最長60日の期限をもってリハビリや退院準備のために入院を継続するための病床（または病床）」ということになるのでしょうか？これまでに、京都市内の大規模病院に入院されて手術などの治療を受けられた方で、まだ十分に食事摂れないのに担当医師からは「大丈夫だから退院していいよ」と言われた経験をお持ちの患者様（またはそのご家族）は決して少なくないと思います。大規模な急性期病院は、医療費抑制の政策から、高度な医療を提供する代わりに入院期間が制限されるような医療制度になっているため、本来は「もう少し・・・」と主治医の先生は思っている、やむを得ず退院を勧めざるを得ない状況が今の日本の医療にはあります。そのような制度を支える新しい考え方として、また医療のありかたを「病院単位ではなく地域単位で」支える方策として、2014年より「地域包括ケア」の考え方が導入されました。似たような制度は「高齢者に対する介護老人保健施設（老健）」がありましたが、この制度に年齢制限はありません。自宅に帰る事を目指している方は、全て利用資格があります。

当院はこの4月から、「地域包括ケア病床」を3階の第一病棟20床に設定（10床から増床）して運用しています。まだまだ社会的に認知度が低いですが、京都市内で治療を受けられた方が亀岡の自宅に帰るためのワンクッションとしての利用は勿論、ご夫婦の一方が当院に入院される場合、一人でご自宅にいるのが不安な場合の利用や、介護されている方が自らの休養などのため、一定期間当院に被介護者をお預けになる場合（これをレスパイトと言います）もご利用いただけます。将来的には亀岡市内にあるような200床以下の小規模病院は、地域支援型の施設に変わっていくと考えられていますが、その中でも当院はスタッフ・診療機器ともに急性期機能が最も充実していますので、万一包括病床で病状が悪化しても安心して医療を受けていただけるかと思います。市民の皆さん、この新しい医療制度を利用しない手はありません。もし利用の希望がある場合は、是非「かかりつけ医」もしくは「ご自身の主治医」に、当院での地域包括ケア病床の利用を申し出てみてください。医療連携の専門スタッフが、主治医と共に力を貸してくれるはずです。



消化器センター長兼副院長 天 池 寿



認知症看護認定看護師が誕生しました



(写真左から 川勝病棟師長、山下認定看護師、後藤看護部長)



認知症認定看護師について お話を聞いてみました

対談参加者

看護師 山下 咲 映
看護部長 後藤 ヨ シ エ

(聞き手 広報委員会事務局)

(事務局) まずは、認知症看護認定看護師の資格取得おめでとうございます。当院にはすでに「皮膚排泄ケア認定看護師」「がん化学療法認定看護師」がそれぞれの看護分野において、水準の高い看護を実践し、現場の看護ケアの質の向上におかって院内・院外を問わず活躍されていますが、認知症看護認定看護師にはどんな役割があるのか教えてください。

(山下) 超高齢社会に突入した今、複数の身体疾患を抱えた認知症者が増加しています。そのような背景から病院での認知症看護の重要性は増しており、その方に応じた個別性のある看護ケアが求められています。認知症看護認定看護師の役割として①院内の認知症看護の質を向上していくこと②認知症者が住み慣れた場所で1日でも長く生活できるような地域作りに参画することだと考えています。

(事務局) 何故、今、認知症看護認定看護師を育成しようと思われたのですか？また、これから山下認定看護師に期待することは何ですか？

(後藤) 少子高齢化に対応できる看護師の育成は重要な課題で、その中でも認知症ケアの質を向上させる人材育成の必要性を感じていました。京都府では、認知症になっても安心して暮らせる京都を目指して平成25年に「京都式オレンジプラン」が策定されました。認知症看護認定看護師育成のきっかけは、このオレンジプランの委託事業である、「認知症サポートナース養成研修」を山下看護師が受講したことでした。「認知症を正しく理解することがその人らしく生きる

ための援助につながる」ということを学び、医師や薬剤師と連携して研修会の企画や、認知症ケアカンファレンスの導入などを進めてきました。このような活動が認知症ケアに対する意識を高め、認知症看護認定看護師の誕生につながりました。

山下看護師には、認知症ケアの質の向上はもちろんですが、住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられる社会の実現に向け、院内に留まらない活動を期待しています。

(山下) 期待に応えられるように頑張ります。

(事務局) 病棟看護を行う中で認定看護師教育課程の修了前後で、何か変化はありましたか？

(山下) 今振り返って考えてみると、認定看護師教育課程を受講する前は、認知症者が少しでも動かれたらすぐに声をかけるという、安全確保に重きを置き過ぎた関わりを行っており、認知症者の持つ能力を活かす視点が見えていなかったように思います。でも、臨床に戻ってからは「歩くことは大切なこと」と認知症者に寄り添える心の余裕ができていました。私達医療者が認知症者を理解し、その人の持つ能力を引き出せる関わりが重要だと感じています。

(事務局) 認定看護師が3人となり、認定看護師以外にも患者様のニーズに対応して、様々な分野の学びを深めている看護師がたくさんいると聞きますが、その力を結集してこれからの亀岡市立病院の看護師に求められる役割はズバリ何だとお考えですか？

(後藤) そうですね。専門的に学ぶ看護師は年々増えています。認定看護師以外にも糖尿病療養指導士や乳がんのおくみに対応するリンパ浮腫セラピスト等がいます。専門的な知識を有する看護師と実際のケアを担う看護師の連携が質の向上に繋がると考えています。他の職種との連携は言うまでもありません。私たち看護師にはベッドサイドケアを24時間担当するものとして、患者様の声を聴きチームへ繋ぐ重要な役割があります。この役割は、病院の枠を超え地域へと広がりつつあります。繋ぐ看護の実践が当院に求められている看護であると考えます。

(事務局) 最後に、今後の抱負や目標について教えてください。

(山下) 今後は、認知症者の身体疾患だけをみるのではなく、ひととなりを大切に一人の人として尊重でき

る看護師でありたいと思っています。

病院内だけでなく、地域の方々とも協働しながら亀岡市の認知症看護の質の向上に努めていき、認知症者が安心して住み慣れた場所で生活できる環境を整えていくことが目標です。



(事務局) 本日はありがとうございました。今後の活躍を期待しています。

認定看護師の活動ってどんなこと?



☆皮膚排泄ケア認定看護師 (山内 やまうち 有香里 ゆかり)

ストーマケア（人工肛門）、褥瘡（床ずれ）などの創傷ケア、オムツ装着中皮膚ケア、失禁ケアなどが必要な方の力になれるよう、病棟や看護相談外来で活動しています。

また、患者様にとってよりよいケアを継続して提供できるよう、院内・院外の相談に応じています。最近では、地域の医療職の方と在宅に戻られた方の継続ケアをともに考える機会が増えました。



☆がん化学療法認定看護師 (山田 やまだ 易余 やすよ)

化学療法看護に携わって 15 年、多くの方と出会い、化学療法に伴う副作用を身体的・精神的にサポートできる看護を専門的に学びたいと思い、がん化学療法認定看護師になりました。

外来では、がんと診断された方の説明に同席させていただき「その人の望む生き方、これからしたい生活、大切にしている思い」を一緒に考え、治療に臨めるように支援しています。そして、安全で確実な治療・看護が提供できるように院内・院外を問わず教育活動も継続しています。



当院では地域に根ざした親しみやすい病院を目指し、市民の皆さまへの健康情報の提供および病院の広報活動の一環として亀岡市立病院健康講座を行っています。地域の公民館などに出向かせていただき、皆さまの関心を持っていただけるよう様々な内容を予定しています。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。



平成 29 年度第 4 回 亀岡市立病院 健康講座

医療スタッフが教える “コツ”

～お薬・家庭用血圧計～



講演



「病院のお薬と市販のお薬について」

薬剤師 居村理紗



「正しく測る家庭用血圧計（正しくないとどう変わる？）」

臨床工学技士 長尾泰弘

体験・展示

- 家庭用血圧計各種（ぜひ測定してみてください）
- カプセル剤・錠剤模型、電子版お薬手帳の紹介など



日時：10月21日（土） 10：30 ～ 11：30

会場：大井生涯学習センター

（JR並河駅前 メディアス2階）

※駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください。

収容人数：60 名程度

参加費：無料（申し込み不要）

お問い合わせ先：亀岡市立病院
〒621-8585 亀岡市篠町篠野田 1-1
TEL. 0771-25-7313（代表）
担当：地域連携室





今年度すでに実施した健康講座の活動報告

平成29年度はこれまで3回の健康講座を実施しています。

第1回は5月25日当院2階ウェルネスホールにおいて、第2回は南つつじヶ丘コミュニティセンターにてにおいて「乳がんとはどんな病気？ よし！検診に行ってみよう」をテーマに田中外科医師、上原診療放射線技師、山田認定看護師が講演を行いました。講演では乳がんの特徴、治療法、検診でわかること、自己検診の仕方についてお話を聞いていただきました。

第3回は「医療スタッフが教える”コツ”～お薬・家庭用血圧計～」をテーマに当院2階ウェルネスホールにおいて居村薬剤師、長尾臨床工学技士が講演を行いました。家庭でもなじみのある市販薬や家庭用血圧計を題材にお話しました。

どの講座もご参加いただいた方の関心の高さが感じられました。最後の質問コーナーでは皆さまが疑問に思っていたこと、ご自身の身体のことなどたくさんのご質問があり、講師からの的確なアドバイスにご納得されているようでした。

01

第1回の様子



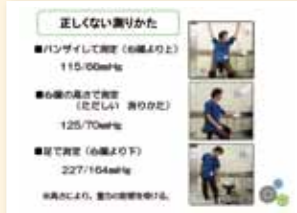
02

第2回の様子



03

第3回の様子



アンケートでは「今後も自身の健康に目を向けながら、生活していくことの良いきっかけになりました」などの声がありました。ご参加いただきました皆さまありがとうございました。講座でお伝えしたことが皆さまの健康につながりますように今後も職員一同努めてまいります。

11月以降の予定

日程	場所	テーマ	講師
11月16日(木)	亀岡市立病院 ウェルネスホール	知らないで損？ 健診結果からわかること	臨床検査技師
		今なら間に合う糖尿病対策～ちょっと高めが要注意～	管理栄養士
12月	未定	知らないで損？ 健診結果からわかること	臨床検査技師
		今なら間に合う糖尿病対策～ちょっと高めが要注意～	管理栄養士
1月23日(火)	亀岡市立病院 ウェルネスホール	認知症に関する内容 で準備中	作業療法士
		認知症に関する内容 で準備中	看護師
2月	未定	認知症に関する内容 で準備中	作業療法士
		認知症に関する内容 で準備中	看護師



糖尿病教室からのお知らせ



朝夕はめっきり涼しく、過ごしやすくなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

当院の糖尿病委員会では、月に一度、糖尿病教室を開催しております。月替わりで医師や薬剤師、栄養士、検査技師、看護師が1時間程度、講義を行い、質問も受け付けております。

回を重ねるごとに、参加いただいている方からの質問が、具体的で生活に密着した内容となっており、皆様の関心の高さをうかがい知ることができ、大変嬉しく思っています。

毎月参加して頂いている方も多く、お会いして「暑いけど調子はどうですか？」などお声掛けし、日々の様子をお聞きする中で、糖尿病という病気と共に家庭や社会の中で、生活されている事を実感いたします。

糖尿病は近年、医療分野での研究が目まぐるしく、新しい名前の薬が次から次へと登場し、治療方法も変わってきていますが、基本は食事療法・運動療法の2本柱は今も昔も変わりません。しかしながら、実際これらを継続することは、意思の強さが必要であり、自身の欲望に負けてしまうことは、人間であるなら、誰しもあるはずです。ダイエットや禁煙、禁酒が長続きしない経験は皆さんも少なからずあるのではないのでしょうか。そのような中で、毎日病気と向き合い、懸命に取り組まれている患者様を尊敬し、共に悩み、喜ぶことを日々心掛けています。時には、大幅に減量できた患者様に、「どうしたらそんなに痩せられるのですか？どうしたら甘い物を我慢できたのですか？」とお伺いすることもあります。

糖尿病教室は糖尿病患者様だけでなく、御家族や興味のある方に幅広く参加いただけることを期待しています。また、2017年10月29日にガレリアかめおかで開催される、亀岡市の健康いきいきフェスティバルにも当院糖尿病チームが参加し、一人でも多くの市民の皆様に、情報をお伝えできる様、準備しています。ぜひお越しください。

☆これからの糖尿病教室予定☆

日 程	テーマ
10月17日(火)	糖尿病について
11月21日(火)	運動療法について
12月19日(火)	栄養について
2018年	
1月16日(火)	検査について
2月20日(火)	薬について
3月20日(火)	フットケア

当院では、地域の医療機関と連携して、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み、地域医療の向上に貢献することを病院の基本理念として、患者様中心の医療を展開しています。

そこで、本院と関係の深い、地域の連携医療機関を順次紹介させていただきます。

地域連携医のご紹介

森戸整形外科医院

院長：森戸 俊典

住所：〒621-0041 亀岡市千代川町小川2丁目2-16

TEL：0771-23-6029

標榜科目：整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科

診療時間：午前8:50～12:15（土曜のみ12:30）、
午後5:20～7:40

休診は水・土曜日午後および日曜日、祝日

院長より一言

昭和49年12月に父 俊和が当地に森戸医院を開設し、平成12年4月に親子継承し「森戸整形外科医院」に名称変更して以来すでに17年が経過致しました。地域に根ざして整形外科の疾患の保存的治療を主体とし運動療法も積極的に行い、小児から高齢者まで幅広く診療させて頂いております。また、平成12年痛風協力医療機関に認定され、平成28年認定痛風医の資格を取得し、「痛風・高尿酸血症」を専門分野とし痛風関節炎の治療のみならず高尿酸血症の合併症予防にも力を注いでおります。

当院は亀岡市において貴院から最も遠く離れておりますが、検査・入院・手術いずれもいつも迅速に対応して頂きとても助けられております。整形外科医院は病院のバックアップなしでは成り立ちませんので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



編集後記

酷暑がようやく終わり、朝、夕にさわやかな秋の風を感じるようになりました。みなさま、いかがお過ごしでしょうか？今年の夏は、湿度が高く体調管理に苦渋した方も多かったのではないのでしょうか。地球環境も社会情勢も医療を取り巻く環境も大きく変化の時を迎えています。私たち亀岡市立病院スタッフは、この変革期にも地域に根ざした病院であり続けるために、柔軟なアイデアを持ち寄って活動しています。そこで、今回の桔梗には、当院の認定看護師や健康講座ワーキングなどの活動紹介を掲載しております。

今後とも、みなさまの身近にある活動に気軽にご参加いただき、共に健康について考える機会が増えることを楽しみに頑張ってまいります。

広報委員会 委員 村上 恵子(看護師)

広報誌読者からのご意見等募集案内

本誌『桔梗』の表紙や挿絵に掲載させて頂く写真やイラストを募集させていただきます。テーマの規定はありません。みなさまより多数のご応募を心よりお待ちしております。

採用、不採用に関わらず、写真やイラスト、画像データ等はお返却できませんのであらかじめご了承下さい。詳細につきましては、下記担当者までお問い合わせをお願い申し上げます。

【担当者】亀岡市立病院 病院総務課 おやいづ 小柳津 （平日、午前10時から午後3時まで）

外来担当医表 (平成29年10月現在)


 亀岡市立病院
 Kameoka municipal hospital

診療科	月	火	水	木	金
消化器内科	うえ はら ゆきこ 上 原 有紀子	うめ むら あつ し 樫 村 敦 詩	おか だ よし ひさ 岡 田 頼 久	———	岡 田 頼 久
循環器内科	みなみ よし と 南 喜 人	ひく い けん すけ 福 居 顯 介	あ だち ゆう 足 立 悠	福 居 顯 介	まつ あ りょう へい 松 尾 龍 平
一般内科	けい ら なつ や 計 良 夏 哉 (第1・3・5週) き むら たい こう 木 村 兌 弘 (第2・4週) はま ぐち まさ ひで 濱 口 真 英	き むら ひみ こ 木 村 史 子 し むら ゆう じ 志 村 勇 司 (予約のみ)	まつ あ りょう へい 松 尾 龍 平	木 村 史 子	にし やま だい ち 西 山 大 地
神経内科	———	———	———	うえ だ てつ ひろ 上 田 哲 大	———
糖尿病内科	———	———	はし もと よし たか 橋 本 善 隆	———	おお さか たか ひみ 大 坂 貴 史
糖尿病内科 午後(予約)	———	———	濱 口 真 英	———	濱 口 真 英
ペースメーカー 外 来	———	———	———	———	松 尾 龍 平 (偶数月の第2週)
皮膚科	———	———	かね まる ま い 金 丸 麻 衣	———	つつみ み ほ 堤 美 穂
泌尿器科	———	しら いし たくみ 白 石 匠	———	———	———
泌尿器科 午後(2時～4時)	———	———	———	ぬく い まさ のり 温 井 雅 紀 (第2・4週)	———
外科1診	あま いけ ひさし 天 池 寿 (第1・3・5週) あら のぶ 荒 木 康 伸 (第2・4週)	担 当 医	田 中 宏 樹	天 池 寿	荒 木 康 伸
外科2診	———	———	かな やま み が 金 山 益 佳 (乳 腺)	ゆたか ようじろう 豊 洋次郎 (呼吸器)	———
外科 午後(予約)	———	———	田 中 宏 樹 (乳 腺)	———	———
麻酔科 (パインクリニック)	はし もと とも こ 橋 本 朋 子	———	———	———	橋 本 朋 子
眼科	なが た けん じ 永 田 健 児	担 当 医	———	担 当 医	———
整形外科1診	く ほ やす おみ 久 保 恭 臣	玉 井 和 夫 (予約のみ)	久 保 恭 臣	はやし だい ち 林 大 智	久 保 恭 臣
整形外科2診	やま さき てつ ろう 山 崎 哲 朗	山 崎 哲 朗	山 崎 哲 朗	———	いわ い ひろ ゆき 岩 井 宏 之
整形外科3診	たま い かず お 玉 井 和 夫	———	———	———	———
小児科	てら まち しん じ 寺 町 紳 二	寺 町 紳 二	寺 町 紳 二	寺 町 紳 二	寺 町 紳 二
小児科 午後(予約)	寺 町 紳 二 (循環器)	寺 町 紳 二 (予防接種)	寺 町 紳 二 (予約外来)	寺 町 紳 二 (循環器・アレルギー)	寺 町 紳 二 (予約外来)

亀岡市立病院は、在宅で療養されている高齢者等を支援する 京都府の在宅療養あんしん病院に登録しています。



JR馬堀駅から徒歩約5分/京都縦貫道篠インターから車で約5分/駐車(輪)場有

亀岡市立病院

〒621-8585 京都府亀岡市篠町篠野田1-1
 TEL 0771-25-7313 FAX 0771-25-7312
<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/access/index.html>

「がんばろう日本」～亀岡市は平成28年(2016年)熊本地震被災地の復興を支援します～